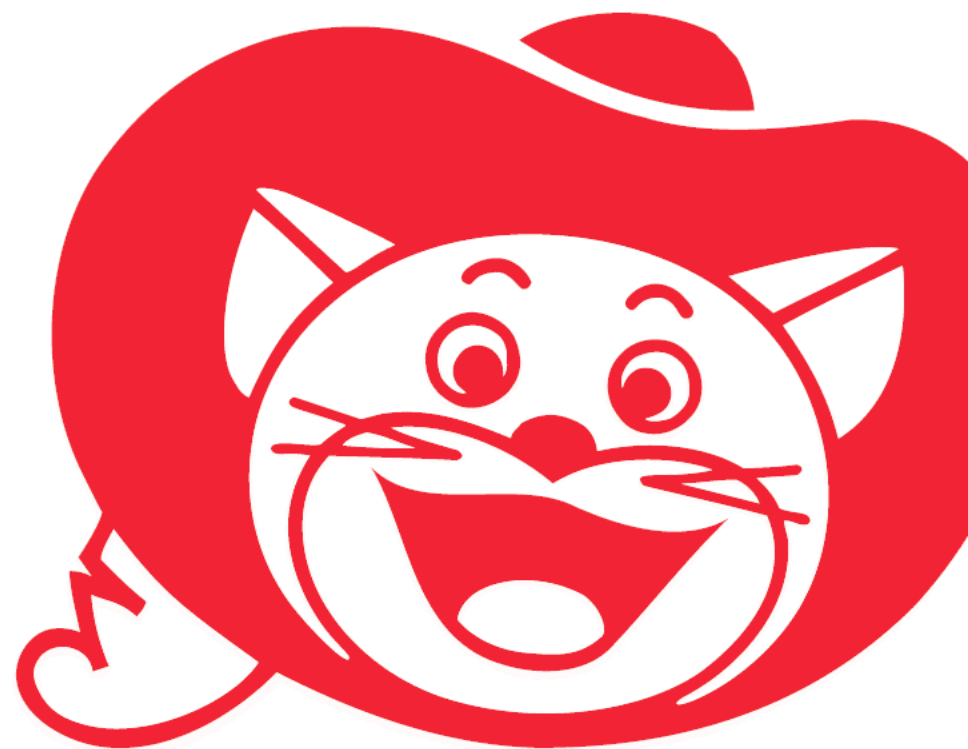


決算説明会資料

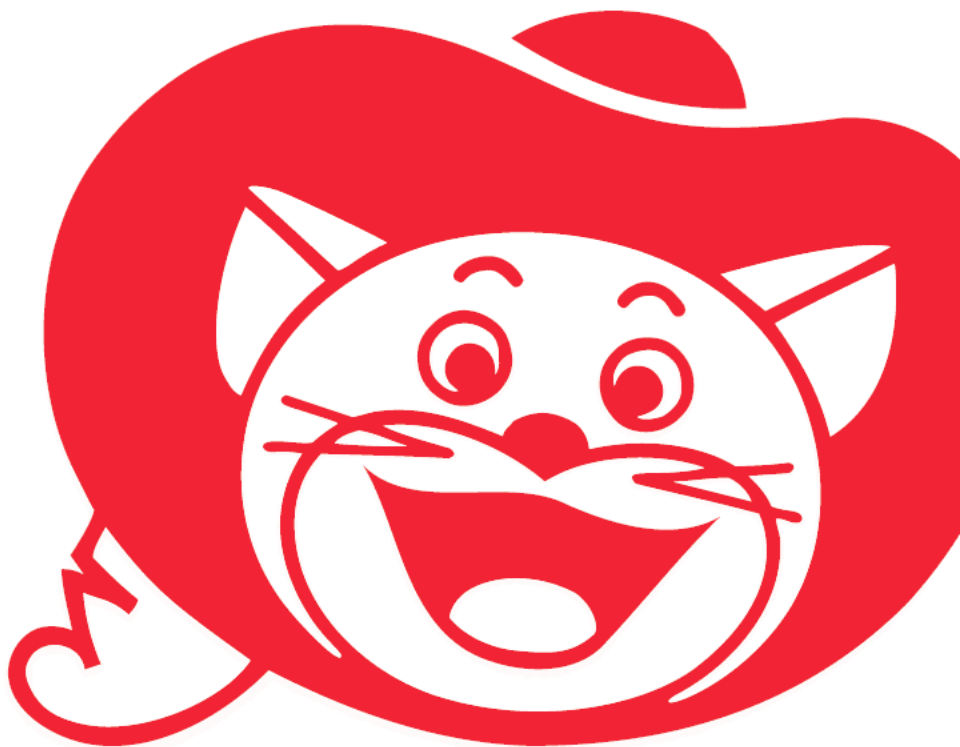


2026年3月期 第2四半期決算(2025/4～2025/9)
東映アニメーション株式会社

TOEI ANIMATION CO.,LTD.

CONTENTS

- 01. 2026年3月期 第2四半期
業績報告
- 02. 今期の見通し
- 03. 今後の事業展望



01. 2026年3月期第2四半期 業績報告



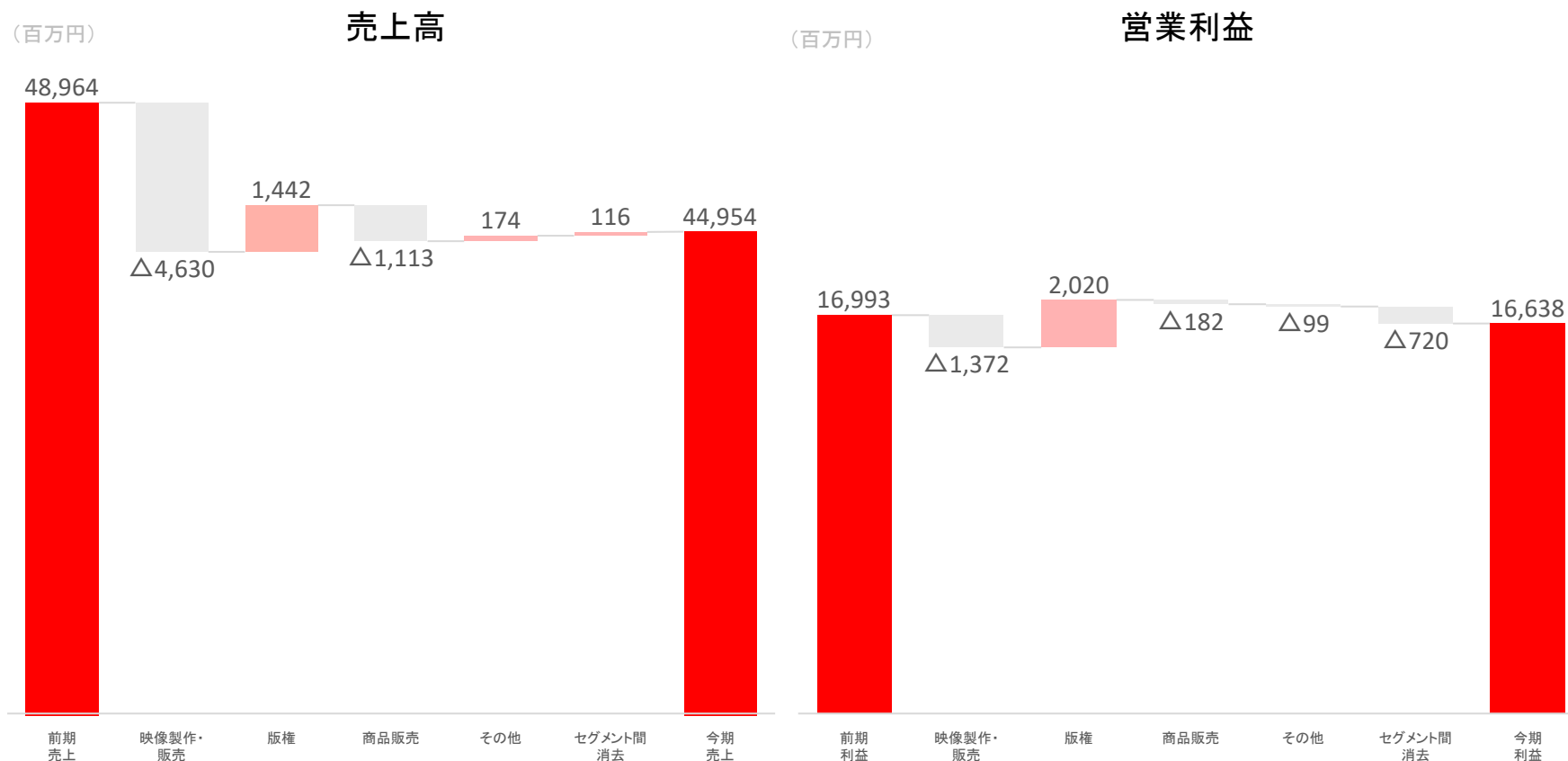
決算サマリー

- 上期として、売上高は過去三番目、営業利益は過去二番目、経常利益・当期純利益では過去最高の水準を達成
- 前年同期に好調だった「スラムダンク」「ゲゲゲの鬼太郎」の国内配信権販売や、主力作品の商品販売等の反動減で減収も、海外商品化権販売の好調に支えられ、概ね同水準の利益を維持
- 前年同期の新作映像投入分の製作原価減少に加え、収益性の高い国内外の著作権ビジネスの好調により、利益率は大きく向上

(百万円)	2026年3月期 第2四半期累計			2026年3月期 第2四半期(2025年7月～9月)				
	実績	前年同期		実績	前年同四半期 25/03 2Q(2024年7月～9月)		前四半期 26/03 1Q(2025年4月～6月)	
		実績	YonY		実績	YonY	実績	QonQ
売上高	44,954	48,964	△8.2%	25,465	25,904	△1.7%	19,488	30.7%
売上総利益	24,817	24,280	2.2%	14,430	14,075	2.5%	10,386	38.9%
販管費	8,179	7,286	12.2%	4,370	3,767	16.0%	3,808	14.8%
営業利益 (営業利益率)	16,638 (37.0%)	16,993 (34.7%)	△2.1% (2.3%)	10,060 (39.5%)	10,308 (39.8%)	△2.4% (△0.3%)	6,578 (33.8%)	52.9% (5.8%)
経常利益	17,904	17,099	4.7%	10,762	9,911	8.6%	7,141	50.7%
当期純利益	12,980	12,219	6.2%	7,751	6,913	12.1%	5,229	48.2%

前年度比増減

- 売上高は、「スラムダンク」「ゲゲゲの鬼太郎」等の国内外配信権販売、及び「スラムダンク」等の商品販売の反動減から減収
- 営業利益は、映像事業での減収に起因する減益が、前年同期対比での製作原価減少で一部相殺。また収益性の高い海外版權事業の好調と自社作品の国内外ビジネス拡大により、概ね同水準維持



2026年3月期 第2四半期 セグメント別内訳（連結）

- 映像製作・販売事業は、前年同期に好調だった「スラムダンク」等の国内外配信権販売の反動減を主因に、減収減益
- 著作権事業は、「ドラゴンボール」シリーズの海外ゲーム化権販売、「ワンピース」等の海外商品化権販売が好調に推移したことを主因に、増収増益
- 商品販売事業は、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働するも、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売の反動減等により、減収減益
- その他事業は、「プリキュア」、「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働するも、人件費等が嵩み増収減益

(百万円)		2025年3月期 第2四半期 実績	2026年3月期 第2四半期 実績	増減率
映像製作・販売事業	売上高	20,653	16,022	△22.4%
	セグメント利益	7,881	6,508	△17.4%
著作権事業	売上高	22,217	23,660	6.5%
	セグメント利益	10,955	12,975	18.4%
商品販売事業	売上高	4,708	3,595	△23.6%
	セグメント利益	513	330	△35.6%
その他事業	売上高	1,703	1,878	10.3%
	セグメント利益	161	61	△61.8%
連結	売上高	48,964	44,954	△8.2%
	営業利益	16,993	16,638	△2.1%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2026年3月期 第2四半期 セグメント別分析①（映像製作・販売）

(百万円)		25/03. 2Q 実績	26/03. 2Q 実績
売上全体		48,964	44,954
映像製作・販売事業		20,653	16,022
	劇場アニメ	389	292
	テレビアニメ	1,336	1,214
	コンテンツ	242	375
	海外映像	14,497	12,304
	その他	4,187	1,835
版權事業		22,217	23,660
	国内版權	8,769	7,945
	海外版權	13,448	15,714
商品販売事業		4,708	3,595
その他事業		1,703	1,878

映像製作・販売事業（ ↓ 前期比22.4%減）

- 「劇場アニメ」は、「映画キミとアイドルプリキュア ♪ お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」を公開も、前年同期に上映を継続していた映画「THE FIRST SLAM DUNK」（復活上映）、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」の反動減により、減収
- 「テレビアニメ」は、前年同期と比較して放映作品数が減少したことにより、減収
- 「コンテンツ」は、「ガールズバンドクライ」のブルーレイ・DVDが好調に稼働したことから、増収
- 「海外映像」は、「ワンピース」の配信権販売が好調も「ドラゴンボール」シリーズのビデオ化権販売・放映権販売の反動減等により、大幅な減収
- 「その他」は、映画「THE FIRST SLAM DUNK」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」をはじめ、国内の映像配信権販売の反動減により、大幅な減収

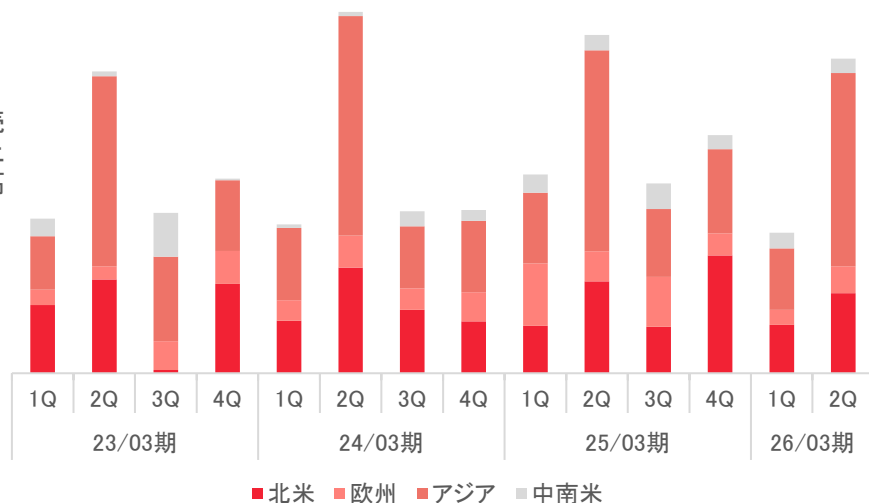
※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

海外映像の状況

- 北米は、前年同期好調に稼働した「スラムダンク」「セーラームーン」の配信権販売の反動減も、「ドラゴンボール」シリーズの配信権販売が好調に推移し、概ね同水準を維持
- 配信(中国)は、前年同期並みの大口配信権を計上するも、決済時の為替レート差により減収

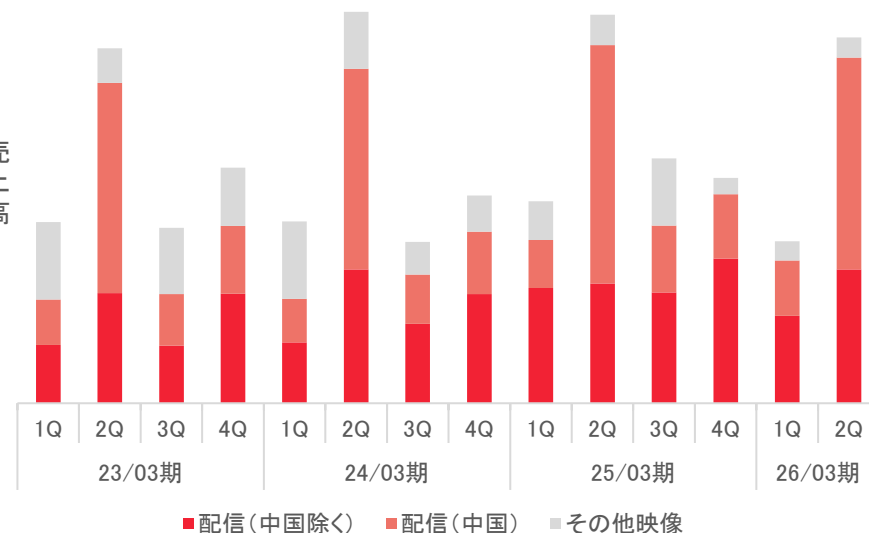
海外映像 売上高の推移

売上高



事業内訳

売上高



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

※上記定性情報は、2026年3月期 第2四半期業績における増減に関する記述となります。



「映画 キミとアイドルプリキュア♪
お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」

- ・ 国内興行収入 11.5億円突破
- ・ 国内観客動員数 93万人突破
- ・ シリーズ興行収入 歴代第3位



「ガールズバンドクライ」

- ・ Blu-ray/DVD累計出荷本数11万本突破

2026年3月期 第2四半期 セグメント別分析②（著作権・商品・その他）

（百万円）		25/03. 2Q 実績	26/03. 2Q 実績
売上全体		48,964	44,954
映像製作・販売事業		20,653	16,022
	劇場アニメ	389	292
	テレビアニメ	1,336	1,214
	コンテンツ	242	375
	海外映像	14,497	12,304
	その他	4,187	1,835
著作権事業		22,217	23,660
	国内著作権	8,769	7,945
	海外著作権	13,448	15,714
商品販売事業		4,708	3,595
その他事業		1,703	1,878

著作権事業（↑ 前期比6.5%増）

- 国内著作権は、「ワンピース」「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことから、減収
- 海外著作権は、「ワンピース」「デジモン」シリーズの商品化権販売、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収

商品販売事業（↓ 前期比23.6%減）

- 「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働も、前年同期に好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売の反動減により、大幅な減収

その他事業（↑ 前期比10.3%増）

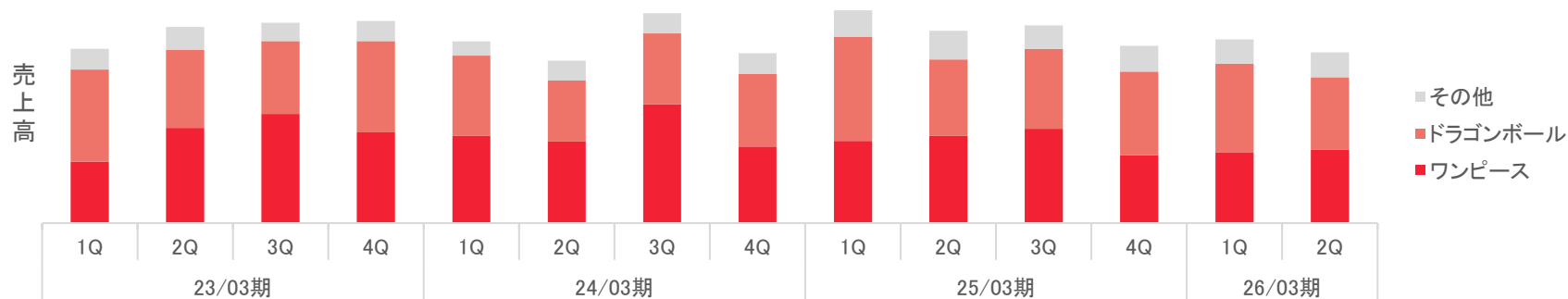
- 「プリキュア」シリーズ、「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働したこと等から、増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

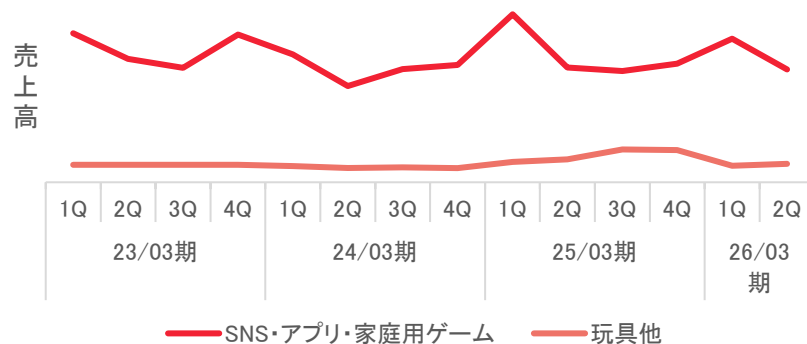
国内版權の状況

- 「ドラゴンボール」シリーズは、ゲーム化権販売、商品化権販売共に昨年のDAIMA放送開始直前の勢いには至らず、減収
- 「ワンピース」は、ゲーム化権販売、商品化権販売共に昨年の周年イベント時の勢いには至らず、減収

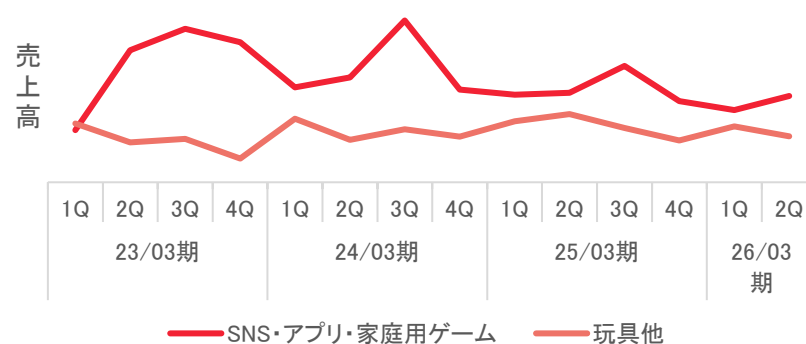
国内版權売上高の推移



ドラゴンボール国内版權売上高の推移



ワンピース 国内版權売上高の推移

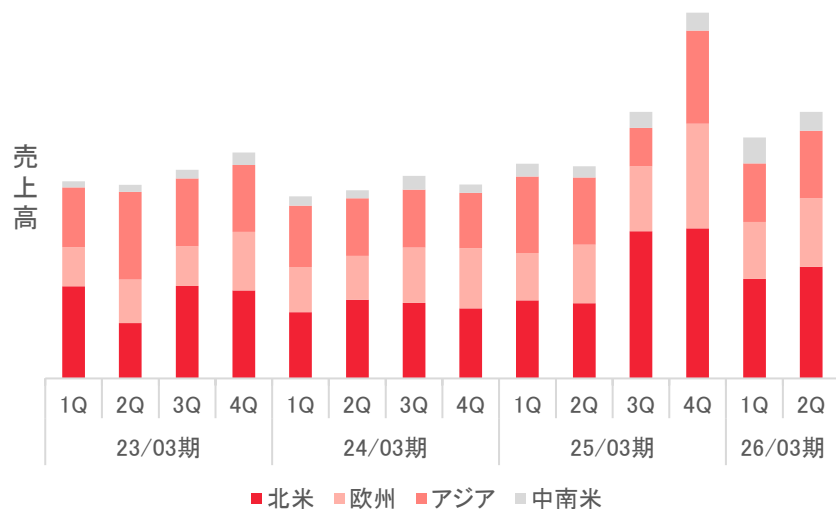


※上記定性情報は、2026年3月期 第2四半期業績における増減に関する記述となります。

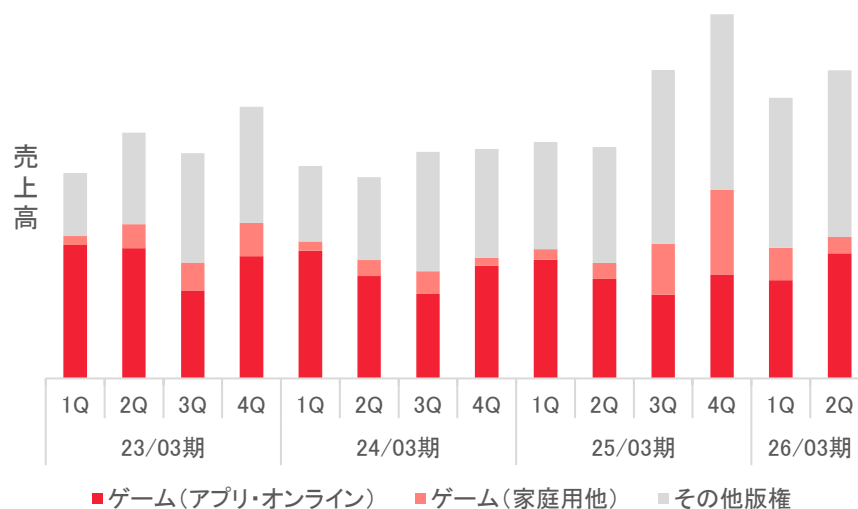
海外版権の状況

- 北米、欧州においては、「ワンピース」、「デジモン」シリーズの商品化権販売が好調に推移し、増収
- ゲーム化権販売は、「ドラゴンボール」シリーズのアプリゲームの好調により、増収
- その他版権は、「ワンピース」のカードゲームに加えフィギュア等が好調を継続、増収を牽引

海外版権 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

※上記定性情報は、2026年3月期 第2四半期業績における増減に関する記述となります。

著作権事業・商品販売事業・その他事業_トピックス

国内版權



「一番くじ ワンピース
未来島エッグヘッド～きみへの想い～」



「一番くじ プリキュア ～Forever Hearts!～」

海外版權



「ONE PIECEカードゲーム」



「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」

商品販売



「プリティストア」(大阪店)

イベント



ガールズバンドクライ展

2026年3月期 第2四半期 決算総括

- 前年同期に好調だった国内外の配信権販売の反動等を主因に減収となるも、海外商品化権販売等の好調により、営業利益以下は概ね同水準を維持
- 版權事業における収益性の高い商品群の好調や、新作映像を投入した前年同期対比での製作原価の減少から各種利益率は大きく向上
- 営業外収益の増加は、為替差益が主因

	24/09 実績	25/09 実績	増減	増減率
売上高	48,964	44,954	△4,010	△8.2%
売上原価	24,684	20,136	△4,547	△18.4%
売上総利益	24,280	24,817	537	2.2%
販管費	7,286	8,179	892	12.2%
営業利益	16,993	16,638	△354	△2.1%
営業外収益	879	1,271	391	44.5%
営業外費用	773	5	△768	△99.3%
経常利益	17,099	17,904	804	4.7%
特別損益	△157	350	508	—
税引前当期純利益	16,941	18,254	1,313	7.8%
法人税等	4,662	5,219	557	12.0%
法人税等調整額	60	54	△5	△9.7%
少数株主利益	—	—	—	—
当期純利益	12,219	12,980	761	6.2%

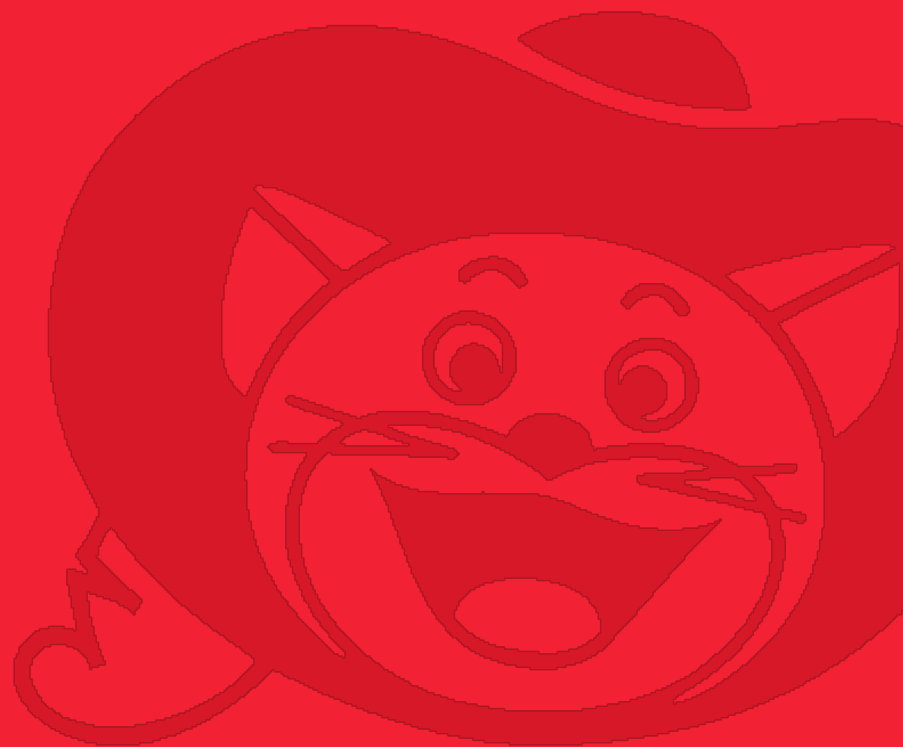
B/Sのダイジェスト

- 仕掛品の増加は、下期並びに来期以降公開予定の作品の製作進捗を反映
- 投資その他の資産は、有価証券の評価益により増加するも、長期性預金等の流動資産への振替で減少

(百万円)

科目	2025/03	2025/09	増減	科目	2025/03	2025/09	増減
現金及び預金	82,474	88,545	6,071	支払手形・買掛金	22,125	18,373	△3,752
受取手形及び売掛金	29,376	22,252	△7,123	その他	11,909	11,541	△368
仕掛品	8,281	10,834	2,552	流動負債	34,035	29,914	△4,120
製作品	109	91	△17	固定負債	3,745	4,649	903
その他	7,698	7,400	△298	負債合計	37,781	34,564	△3,217
流動資産	127,940	129,125	1,184	株主資本	138,553	142,491	3,938
有形固定資産	8,558	8,594	35	その他の包括利益累計 合計額	14,645	15,127	482
無形固定資産	1,281	1,440	158	純資産合計	153,198	157,619	4,420
投資その他の資産	53,199	53,023	△175				
固定資産	63,039	63,058	19				
資産合計	190,980	192,183	1,203	負債及び純資産合計	190,980	192,183	1,203

02. 今期の見通し



業績予想に対する進捗状況

- 上期は、売上高は一部期ずれを主因に期初上期計画未達も、営業利益は収益性の高い海外版権事業が好調に推移し、期初計画を上回る進捗
- 下期においても上期同様に海外版権事業の好調を見込むも、足元の経済環境等が予断を許さない状況であることにも鑑み、期初業績予想は据置きとする

(百万円)	26/03 第2四半期	26/03 通期予想	進捗率
売上高	44,954	88,000	51.1%
映像製作・販売事業	16,022	27,700	57.8%
劇場アニメ	292	700	41.8%
テレビアニメ	1,214	2,300	52.8%
コンテンツ	375	400	93.8%
海外映像	12,304	21,100	58.3%
その他	1,835	3,200	57.3%
版権事業	23,660	46,300	51.1%
国内版権	7,945	17,700	44.9%
海外版権	15,714	28,600	54.9%
商品販売事業	3,595	9,500	37.8%
その他事業	1,878	4,500	41.7%
営業利益	16,638	26,000	64.0%
経常利益	17,904	26,700	67.1%
当期純利益	12,980	19,100	68.0%

映像製作・販売事業

- ・ 前年度同様、中国向け大口配信権販売は第2四半期に計上
- ・ 主要IPは、概ね期初予想通り展開を想定
- ・ その他作品は、認知度拡大により好調に推移を見込む

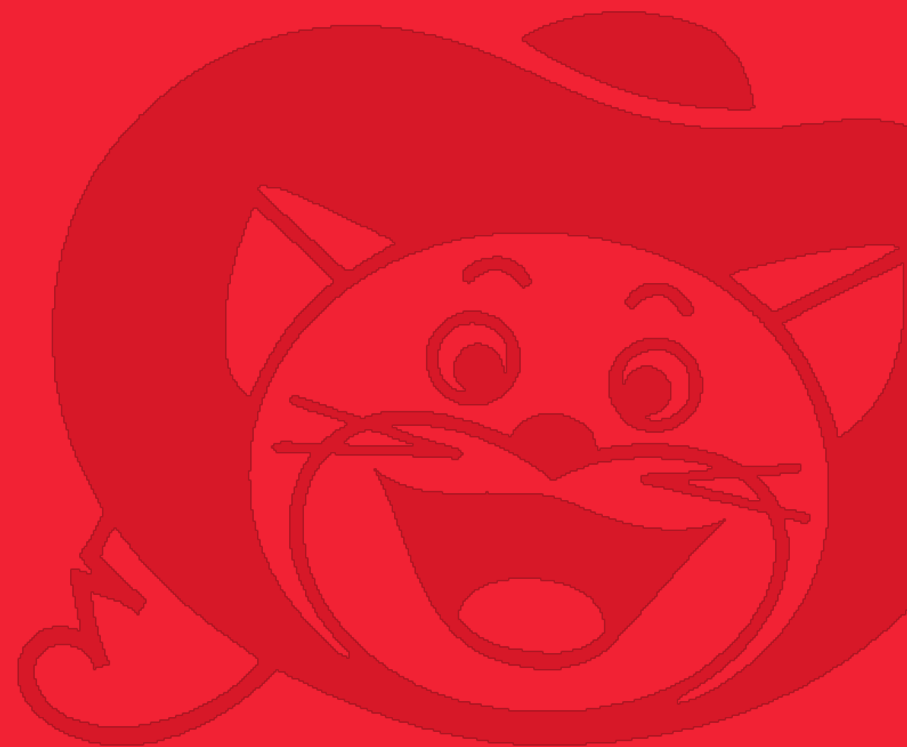
版権事業

- ・ 国内版権は、下期にかけては「デジモン」シリーズの新作投入等による効果を見込む
- ・ 海外版権は、引続き「ワンピース」のカードゲームやローカル商品化等を中心にIP認知度拡大による効果を享受
- ・ 中国アプリゲーム市場の不況により、一部タイトルゲームへの影響見込む

商品販売事業

- ・ 「プリキュア プリティストア」等のショップ事業は好調に推移中
- ・ 下期より世界初となるドラゴンボール常設店がOPEN、売上増に貢献を見込む

03. 今期の事業展望



展開スケジュール

Schedule

26/03期
2Q

■ ONE PIECE×ドジャースコラボイベント「ONE PIECE Night」[7/3]

■ 「ONE PIECE FAN LETTER」Blu-ray/DVD 発売[7/30]

■ 「ドラゴンボール ゲキシシ スクアドラ」 リリース[9/10]

■ 「映画キミとアイドルプリキュア♪ お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」 公開[9/12]

■ 「ガールズバンドクライ」トゲナシトゲアリ LIVE in 日本武道館 “奏檄の叫”[9/23]

■ 「デジモンストーリー タイムスorenジャー」 発売[10/2]

■ 「劇場版総集編ガールズバンドクライ【前編】青春狂走曲」 公開 [10/3]

■ 「科学×冒険サバイバル！」第2シリーズ 放送開始 [10/4]

■ 「DIGIMON BEATBREAK」 放送開始 [10/5]

■ 「THE FIRST SLAM DUNK 2025 in cinema」 上映 [10/13]

■ ONE PIECEカードゲーム エクストラブースター
ONE PIECE Heroines Edition[EB-3] 発売予定[10/25]

■ 「DRAGON BALL STORE TOKYO」 オープン予定[11/14]

■ 「劇場版総集編ガールズバンドクライ【後編】
なあ、未来。」 公開 [11/14]

■ ドラゴンボールスーパーカードゲーム フュージョンワールド
ブースターパック 誇り高き戦闘民族[FB08] 発売予定[12/13]

■ 「ドラゴンボール ゲンキダマツリ」 開催予定[1/25]

■ 「ガールズバンドクライ」トゲナシトゲアリ Zepp Tour 2026
“拍動の未来” [2026年2月～3月]

■ 劇場オリジナルアニメーション映画「楽園追放 心のレゾナンス」
公開予定 [2026年]

■ 国際合作アニメーション映画「Hypergalactic」公開予定 [時期未定]

■ 「ガールズバンドクライ」スマホゲームリリース[時期未定]

■ 「ガールズバンドクライ」完全新作映画公開予定[時期未定]

■ 『怪獣デコード アイダラの指輪』 公開予定[時期未定]

26/03期
4Q以降

時期未定

■ 映像製作・販売事業 ■ 著作権事業 ■ 商品販売事業 ■ その他事業

Topics

主要作品展開トピックス



ONE PIECE × ドジャースコラボ
「ONE PIECE Night」



ONE PIECE Cafe(LAリトルトーキョー店)



「ドラゴンボール ゲキシシスクアドラ」



「デジモンストーリー タイムストレンジャー」

26年3月期第2四半期の映像作品の状況

■ 「映画キミとアイドルプリキュア♪ お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」

-2025年9月12日 上映開始

-興行収入11.5億円突破（10月27日時点）

新作映像展開

■ 「劇場版総集編ガールズバンドクライ」

- 前編 青春狂走曲 10月3日/後編 なあ、未来。 11月14日 公開予定

■ 「科学×冒険サバイバル！」第2シリーズ

-2025年10月4日 放送開始

■ 「DIGIMON BEATBREAK」

-2025年10月5日 放送開始

今後の作品展開の予定

既存IPの育成

主要作品企画



「ワンピース」



「THE ONE PIECE」
(制作：WIT STUDIO)



「キミとアイドルプリキュア♪」



「映画キミとアイドルプリキュア♪
お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」



「おしりたんてい」

その他企画



「DIGIMON BEATBREAK」

キッズ向け企画

新規IPの創出/ライブラリ

地産地消型作品



「スパイシーキャンディ」



「花仙子之魔法香対論（原題）」

ハリウッド型作品



「Hypergalactic」

海外スタジオ コラボレーション企画



「高手」

キッズ向け企画



「ELEMON」



「科学×冒険サバイバル！」

その他新規作品



「劇場総集編
ガールズバンドクライ」

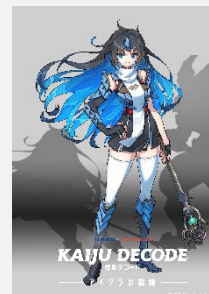
[前編]青春狂走曲/[後編]なァ、未来。



「ガールズバンドクライ」
完全新作映画

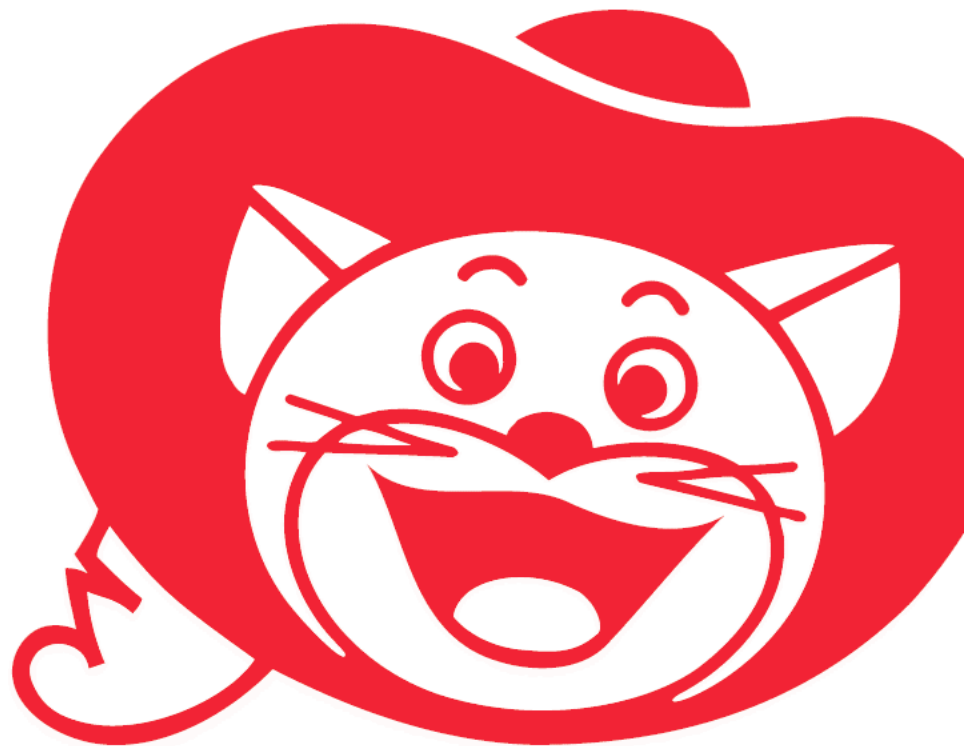


「楽園追放 心のレゾナンス」



「怪獣デコード
アイダラの指輪」

TOEI ANIMATION CO.,LTD.



【見通しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

©2025 映画キミとアイドルプリキュア♪製作委員会 ©東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社 ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©バードスタジオ／集英社・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©ABC-A・東映アニメーション ©東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©バード・スタジオ／集英社・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©本郷あきよし・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・「THE ONE PIECE」製作委員会 ©ABC-A・東映アニメーション ©2025 映画キミとアイドルプリキュア♪製作委員会 ©トロール・ポプラ社／おしりたんてい製作委員会 ©本郷あきよし・東映アニメーション ©TAE・TAES・Tencent・Wawayu All Rights Reserved. ©Spicy Candy Project Committee ©Gomdori co., Kim Jeung-Wook, Han Hyun-Dong／Mirae N／Ludens Media／朝日新聞出版／NHK・NEP・東映アニメーション ©東映アニメーション ©東映アニメーション ©東映アニメーション・ニトロプラス／樂園追放ソサイエティ © Monkey Prince Kingdom Film Partners ©Ryu Ki-woon & Moon Jeong-hoo / WEBTOON・Gosu Committee. ©東映アニメーション・Rymation・アナライズログ ©TSUBURAYA PRODUCTIONS, TOEI ANIMATION